

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
 C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－基本配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書

(校園コード)

※校園コードを入力してください。

取組に対する評価状況

学校名

学校関係者による評価実施済

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 円 → 決算額 円

2 配付上限額

学校配当	+	学級数	+	特別支援学級数	×	学級配当
<input type="text" value="350,000"/>		<input type="text" value="12学級"/>		<input type="text" value="6学級"/>		<input type="text" value="50,000"/>
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。						
配付上限額						
=	<input type="text" value="1,250,000"/>					

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

- ①大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。
 <学校の年度目標>
 ②大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。
 ※過去3年間、いずれも93%である。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合は、94.8%であった、大阪市平均を約6ポイント上回り、本校の昨年度の割合も約2%上回った。第3回学校協議会において、規範意識や学習規律が向上し、全般に落ち着いた教育活動に取り組んでいるとの評価を得た。

A

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

- ①人権尊重の教育を基盤とした教育活動を推進する。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

- すべての教員が、年2回以上校外で行われる人権研修会に参加する。
- 人権教育実施計画に基づいて、日常的、計画的に取り組む。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

- すべての教員が、年2回以上校外で行われる人権研修会に参加した。
- 人権教育実施計画に基づいて、日常的、計画的に取り組むことができた。

A

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

- 各学級での人権教育上の課題を共有し、全教職員で解決を図ることができた。
- 人権教育実施計画を確認しながら、学級・学年の実態に応じて、人権学習を進めていく必要がある。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 【施策2 道徳心・社会性の育成】 ・人権を尊重する教育推進にかかる指導法研修会の実施	委員会使用欄 	達成 A
①予算内訳 8-1 人権教育 講師謝礼金(助手相当) @ 4,300×4時間=17,200円 8-1 生活指導 講師謝礼金(大学教授) @ 7,100×4時間=28,400円 8-1 特別支援教育 講師謝礼金(大学教授) @ 7,100×4時間=28,400円 小計 74,000円 11-1 トナーカートリッジ @15,000×4色 =60,000円 小計 60,000円 合計 134,000円		
②決算内訳 8-1 講師謝礼金(大学教授) @7,100×3時間=21,300円 8-1 講師謝礼金(大学講師) @5,200×2時間+3,460=13,860円 11-1 トナーカートリッジ @16,075×4色=64,300円 11-1 音声翻訳機 @22,979×2=45,958円 11-1 ブックトラック @48,985×2=97,970円 11-1 画用紙他 132,033円		
(2)取組内容【施策番号 施策名】 【施策2 道徳心・社会性の育成】 ・キャリア教育の充実、人権を尊重する教育の推進 ・音楽・吹奏楽に親しむ機会の創出	委員会使用欄 	達成 A
①予算内訳 8-1 全学年 国際理解(助手相当) @ 4,300×12時間=51,600円 8-1 全学年 平和教育(助手相当) @ 4,300×2時間= 8,600円 8-1 3年 盲導犬(助手相当) @ 4,300×3時間=12,900円 8-1 3年 音楽(助手相当) @ 4,300×2時間= 8,600円 8-1 全学年 体育(助手相当) @ 4,300×9時間=38,700円 8-1 5年林間指導謝礼(看護師) @12,000×2日間=24,000円 8-1 5年林間指導交通費・宿泊費(看護師) @10,000×1人 =10,000円 8-1 6年修学旅行謝礼(看護師) @12,000×2日間=24,000円 8-1 6年修学旅行交通費・宿泊費(看護師) 10,000円 8-1 6年修学旅行謝礼(指導員) @ 7,000×2日間=14,000円 8-1 6年修学旅行交通費・宿泊費(指導員) 10,000円 合計 212,400円		
②決算内訳 8-1 全学年 国際理解(助手相当) 53,540円 8-1 2年 視覚障がい者(助手相当) 9,040円 8-1 3年 盲導犬(助手相当) 13,340円 8-1 3年 リコーダー(助手相当) 9,160円 8-1 3年 珠算(助手相当) 3,000円 8-1 5年 林間指導謝礼、交通費、宿泊費(看護師) 33,709円 8-1 6年 修学旅行謝礼、交通費、宿泊代(看護師) 35,755円		
(3)取組内容【施策番号 施策名】 施策3 地域に開かれた学校づくり】 ・校外体験学習の実施	委員会使用欄 	達成 B
①予算内訳 9-5 教員 校外体験学習旅費 30,000円 小計 30,000円 12-1 1年 動物園見学交通費 @ 80×81= 6,480円 12-1 1年 植物園見学交通費 @120×81= 9,720円 12-1 2年 大阪城公園見学交通費 @120×73= 8,760円 12-1 3年 大阪環状線見学交通費 @130×70= 9,100円 12-1 3年 ぐらしの今昔館交通費 @120×70= 8,400円 12-1 4年 科学館見学交通費 @192×45= 8,640円 17-1 4年 焼却場見学交通費 @117×45= 5,265円		

12-1	5年	コリアタウン見学交通費	@100×62=6,200円	
12-1	5年	国際美術館見学交通費	@192×62=11,904円	
12-1	6年	ピースおおさか見学交通費	@120×44=5,280円	
12-1	6年	ミュージカル鑑賞交通費	@144×44=6,336円	小計 85,860円
14-1	3年	展望台入場料	@360×70=25,200円	
14-1	4年	プラネタリウム入場料	@240×49=11,760円	小計 36,960円
				合計 152,820円

②決算内訳

12-1	1年	動物園見学交通費	@80×76=6,080円	
12-1	2年	大阪城公園見学交通費	@120×68=8,160円	
12-1	3年	大阪環状線見学交通費	@130×60=7,800円	
12-1	3年	くらしの今昔館見学交通費	@120×60=7,200円	
12-1	4年	市立科学館見学交通費	@120×40=4,800円	
12-1	4年	焼却場見学交通費	@224×41=9,184円	
12-1	5年	コリアタウン見学交通費	@100×57=5,700円	
12-1	5年	国際美術館見学交通費	@192×58=11,136円	
12-1	6年	ピースおおさか見学交通費	@120×39+@40×2=4,760円	
12-1	6年	こころの劇場見学交通費	@144×40=5,760円	
14-1	3年	ハルカス展望台入場料	@360×60=21,600円	
14-1	4年	プラネタリウム入場料	@240×40=9,600円	
9-5	上記にかかる教員旅費			15,150円

(3)取組内容【施策番号 施策名】

委員会使用欄

達成

【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】
・学力UP支援事業

A

①予算内訳

学びサポーター経費 750,780円

②決算内訳

学びサポーター経費 572,240円

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。
委員会使用欄は空欄としてください。

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
 C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－加算配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】実施報告書(選定校記載用)

(校園コード)

学校名

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

1 配付額 円 → 決算額 円

2 自校の現状・課題(※小・中学校においては、学力課題に限定)

- ・平成30年度の全国学力・学習状況調査では、算数ABがともに全国平均を上回った。習熟度別少人数指導やICT機器の活用などを定着化した成果が少しずつあらわれてきている。一方で、国語ABは、ともに大阪市平均を下回った。さらに、大阪市学力経年調査結果からは、下位層がぶ厚く存在しているため、全体の平均を押し下げている現状が明らかになった。
- ・今年度は、児童数の急増により、習熟度別少人数指導を展開する普通教室がまったくない状況となり、昨年度まで積み上げてきた成果が停滞する危機にある。苦肉の策として、理科室や家庭科室、多目的室、特別支援教室などを活用して、少人数指導を実施している。
- ・普通教室に常備されているICT機器をこれらの4教室に整備して、学力向上をすすめる取り組みが必要である。

3 年度目標(※小・中学校においては、学力向上の目標を記載すること)

- ・大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

目標に対する達成状況(取組完了時)

いずれの学年も、前年度より向上した。当初の目標を大きく超えて達成することができた。

()は、同一母集団での前年度標準化得点。

4年⇒99.6(96.9) 5年⇒99.7(99.0) 6年⇒105.7(101.3)

達成

A

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・特別教室にプロジェクターや書画カメラ、デジタル教科書、タブレット端末などのICT機器を整備することで、習熟度別少人数指導の際、他の普通教室と同様の学習環境を保障し、下位層の底上げと上位層のさらなる学習理解を促進する。

5 年度目標に応じた事業効果を測る指標(期待する効果等)

- ・大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上、減少させる。

指標に対する達成状況(取組完了時)

いずれの学年も、前年度より減少した。当初の目標を大きく超えて達成することができた。

()は、同一母集団での前年度の割合。

4年⇒13.9(22.2) 5年⇒14.3(18.6) 6年⇒2.7(11.1)

達成

A

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	<input type="text" value="購入手続き"/>		<input type="text" value="ICT機器の活用"/>						
効果検証	<input type="text" value="取組実施前後の単元テストによる比較"/>								
	<input type="text" value="大阪府立小学校学力経年調査"/>								

取組

1

(校 園 コー ド 611308)
 学 校 名 塩 草 立 葉 小 学 校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ①国語科、算数科の学習において、ICT機器を活用し、児童の学習意欲を向上させる。 ②習熟度別少人数指導を充実し、下位層の児童の底上げを行う。	委員会使用欄	達成
		A
予算内訳 ・超短焦点プロジェクター購入18-2 @313, 200×4教室=1,252,800円 ・書画カメラ購入18-2 @86, 400×4教室=345,600円 ・マグネットスクリーン(ローラー式)購入18-2 @59, 400×4教室=237,600円 ・壁掛けユニット購入11-1 @32, 400×4教室=129,600円 ・インターフェースボックス購入11-1 @32, 400×4教室=129,600円		
期待される効果 ・ICT機器の活用および習熟度別少人数指導の充実により、児童の学習意欲を向上させ、母集団全体での対象児童の単元テストや大阪市学力経年調査の正答率の向上につなげる。		

(2)取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続き		ICT機器の活用						
効果検証	取組実施前後の単元テストによる比較								
	<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; display: inline-block;"></div> ← 大阪市小学校学力経年調査								

(3)取組内容に対する中間報告

- スケジュールどおり実施できている。
 スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
 スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)

[大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

(4)取組内容に対する決算内訳

決算内訳	
11-1 プロジェクター交換ランプ	@10,890×3=32,670円
11-1 デジタルAVアダプター	@6,800×6=40,800円
11-1 プロジェクター用壁掛け金具	@21,600×4=86,400円
11-1 プロジェクター用インターフェースボックス	@18,360×4=73,440円
11-1 壁掛けユニット	@26,000×2=52,000円
11-1 インターフェースボックス	@30,000×2=60,000円
11-1 プロジェクターランプ	@10,500×5=52,500円
18-2 書画カメラ	@61,560×4=246,240円
18-2 マグネットスクリーン	@36,720×4=146,880円
18-2 プロジェクタースクリーン	@41,580×2=83,160円
18-2 液晶プロジェクター	@121,824×4=487,296円
18-2 液晶プロジェクター	@129,580×1=129,580円
18-2 マグネットスクリーン	@28,050×12=336,600円
18-2 書画カメラ	@51,920×4=207,680円

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。